

事業のステップアップ 委員実施事例

事業提案しましたが、その内容のとおりを実施することが難しい方もいるかもしれません。

しかし、例えば“会社(団体)のセミナーに取り入れてみる”、“ホームページなどにリンクを掲載して情報提供する”など工夫することで、実施できそうな提案事業があるかもしれません。

そこで、より多くの市民・事業者の方に、提案事業を実施してもらえよう工夫を検討し、事業のステップアップを図りました。

ここでは、委員自身がステップアップさせて実施した事例を紹介します。

内容のレベルアップ "他の委員からのアドバイスを受けて実施" No01-01 生活廃熱利用システムの普及啓発(1)

この事業は、説明会や施工現場の見学会などにより、生活廃熱(下水熱、換気廃熱など)を利用した融雪システムの普及啓発を図るものです。

提案した伊藤委員(公募市民(日本技術士会北海道本部所属))は、市民の方を対象に、下水熱や換気廃熱を利用した融雪システムを分かりやすく紹介する説明会を開催しました。



説明会の様子

<ポイント>

初期投資費用や投資回収年数などの情報についても取り上げた方がよい、という他の委員からのアドバイスを基に、説明者と調整し、説明会にて情報提供しました。

委員所属団体のネットワークの活用 "情報提供の協力"

大内委員(北海道グリーン購入ネットワーク所属)、鈴木委員(NPO法人北海道グリーンファンド所属)、成田委員(公募市民(まちネット所属))は、それぞれが所属する団体のネットワークを生かし、協議会での提案事業の実施予定などの情報を、団体会員向けのメールマガジン等に掲載することで、情報提供に協力しました。

<ポイント>

皆さんが持っている様々なネットワークを通じて提案事業に関する情報を提供することで、多くの人に事業の実施を促すことができ、温暖化対策の取組がさらに広がる可能性があります。

活動のレベルアップ "既存の活動に取り入れて実施"

宮森委員(北海道地球温暖化防止活動推進員)は、自らの活動の中に提案事業No09-01「ひとしぼり運動」を取り入れて実施しました。(宮森委員が講師を務める看護学校で、「ごみ分けガイド」を活用して学生に教えました。)

<ポイント>

既存の活動に取り入れることで、無理なく実施でき、また温暖化対策の取組の幅が広がります。

ぜひ、本紙 概要版とともに第8次札幌市環境保全協議会活動報告書もご覧ください。
札幌市役所公式ホームページにも掲載していますので、「環境保全協議会」で検索!
アドレス <http://www.city.sapporo.jp/kankyo/kyogikai/index.html>



第8次 札幌市環境保全協議会が 考え、実施した 具体的な温暖化対策 あなたも取り組んでみませんか?

詳しい内容は
活動報告書を
ご覧ください!

(市役所や環境プラザ等で配布中)



平成23年4月から活動を始めた第8次札幌市環境保全協議会では、「札幌市温暖化対策推進ビジョン」に掲げる10のアクションに係る「市民・事業者の行動」の実施を促す、具体的な温暖化対策を検討・提案し、そのいくつかを実施しました。

このパンフレットには、協議会活動の概要をまとめています。

第8次札幌市環境保全協議会活動報告書(概要版)
発行者:第8次札幌市環境保全協議会事務局(札幌市環境局環境都市推進部環境計画課)
〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目
TEL:011-211-2877 FAX:011-218-5108



さっぽろ市
02-G02-12-1598
24-2-230

協議会の活動

事業提案

「札幌市温暖化対策推進ビジョン」に掲げる10のアクションに係る「市民・事業者の行動」の実施を促すような、具体的な温暖化対策推進事業を自由に提案しました。

右の一覧表に計59の提案事業を載せております。事業内容については、活動報告書をご覧ください。

実施

すぐに実施できる「短期事業」として提案した事業のうち、委員も自ら又は所属団体として可能な限り実施しました。

(写真)照井委員(一般社団法人札幌ハイヤー協会所属)提案事業「エコドライブ体験講習会」実施の様子



ステップアップ

提案事業について、より多くの市民・事業者の方に、実施してもらえるような工夫を検討し、事業のステップアップを図りました。

また、委員自身もステップアップさせた事業を実施しました。

実施事例については、裏面に載せていますのでご覧ください。

CO₂削減効果算出

事業実施によるCO₂削減効果を算出することで、温暖化対策への寄与度が分かりやすくなり、積極的な取組が期待できることから、算出方法を決め、それに基づいて実施事業のCO₂削減効果を算出しました。

また、数値だけでなく、体積をサッカーボール、ドラム缶、牛乳パックに換算し、削減効果が実感できる工夫をしました。



情報発信

委員が実施した事業については、多くの方に同じように実施していただくため、事業内容や実施結果をホームページで情報発信しました。

また、イベント「環境広場さっぽろ」に出展し、協議会活動内容を周知しました。

(写真)千葉委員(公募市民)提案事業「温度差発電の普及啓発」実施の様子



協議会の提案事業一覧

番号	提案事業名	番号	提案事業名
01. 北国基準の省エネルギー住宅の普及に向けた展開		04-08	エコライフポイント制度
01-01	生活廃熱利用システムの普及啓発(1)	04-09	エコアクションポイント(見える省エネ)
01-02	「省エネ+ゼロエミッション」住宅に関する情報提供	04-10	CO ₂ 削減の見える化等による町内会でのエコライフ推進
01-03	省エネルギー住宅の普及啓発(事業者向け)	04-11	町内会におけるエコ活動の推進
01-04	省エネルギー住宅の普及啓発(市民向け)	04-12	目に見えるインセンティブ
01-05	省エネルギー住宅等に関する情報提供	04-13	省エネ見える化事業
01-06	生活廃熱利用システム導入への補助	05. 事業活動によるCO ₂ 削減に向けた展開	
01-07	生活廃熱利用システムの普及啓発(2)	05-01	環境保全活動に対する支援の情報提供
02. 高効率給湯・暖房機器の普及に向けた展開		05-02	事業活動の支援(ハード面)
02-01	高効率機器等に関する情報提供(1)	05-03	事業活動の支援(ソフト面)
02-02	高効率機器等に関する情報提供(2)	05-04	事業者のCO ₂ 削減の見える化等による促進
02-03	CO ₂ 削減コンテスト	06. 太陽光発電設備の導入拡大に向けた展開	
02-04	高効率機器ラベリング事業	06-01	太陽光発電設置に係るセミナー
03. 次世代自動車や公共交通機関等の利用拡大に向けた展開		06-02	太陽光発電に関する情報提供
03-01	エコドライブ体験講習会	06-03	公共施設への率先導入
03-02	公共交通機関のコストメリット周知	06-04	コミュニティ・ソーラー発電事業
03-03	サイクルシェアリング「ポロクル」の利用促進	07. 木質バイオ燃料の導入・利用拡大に向けた展開	
03-04	低公害な車両の試乗会	07-01	バイオマス資源流通のしくみ構築
03-05	ウィズユーカードによる公共交通利用促進	07-02	清掃工場での木質系バイオマスの混焼
03-06	公共交通利用促進に向けた仕組みづくり	07-03	間伐材利用制度化
03-07	コミュニティ・カーシェアリング事業	07-04	間伐材利用補助
03-08	電気自動車等の導入促進	07-05	木質バイオマスを活用した機器導入支援
03-09	蓄電池型の車両導入によるスマートコミュニティの促進	08. 再生可能エネルギー等の利用拡大に向けた展開	
03-10	公共交通機関の魅力づくり	08-01	温度差発電の普及啓発
03-11	公共交通利用促進に向けた仕組みとあり方検討プロジェクト	08-02	再生可能エネルギーによるホワイトイルミネーションの実施
03-12	新千歳空港から恵庭~大曲~清田~福住への交通(地下鉄)	08-03	コージェネによる地域暖房調査
03-13	歩きたくなる道の整備	08-04	鉛直軸型風力発電機の発電実績調査
04. エコライフの定着・拡大に向けた展開		09. ごみ減量・リサイクルの定着・拡大に向けた展開	
04-01	エコライフの啓発	09-01	ひとしぼり運動
04-02	「サッポロエコの日」の制定	09-02	ごみステーションデザインコンペ
04-03	環境教育表彰制度	10. 地域のみどりの育成に向けた展開	
04-04	エネルギー関連の学習会	10-01	森づくり事業
04-05	「環境プラザ」サポーター登録制度	10-02	みどりのサポーター制度
04-06	地球温暖化防止をテーマとしたプログラムの利用促進	10-03	「間伐に寄与する紙」の利用促進
04-07	寄付による環境保全活動推進		

委員の情報共有

協議会で活発な協議が行われるように、Eメールの活用や「環境保全協議会NEWS」の発行により、積極的に委員同士の情報共有を図りました。

(画像)発行した環境保全協議会NEWS

